

参加のご案内

Digital Content EXPO 2010



Digital Content EXPO 2010

2010/10/14 Thu - 17 Sun

会場：日本科学未来館/東京国際交流館

主催：経済産業省/財団法人デジタルコンテンツ協会

事業概要

コンピュータ技術の発展と足並みを合わせて成長を遂げてきたデジタルコンテンツは、ゲームやアニメなどの産業を発展させるとともに、芸術表現の場として新たな文化を生み出してきました。

コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティなどの関連技術は、コンテンツ産業の発展を牽引するだけでなく、医療やバイオなど多彩な分野へも応用の幅を広げています。

デジタルコンテンツ EXPO は、こうしたデジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、企業関係者等が参加し、最新の情報を交換しながら、デジタルコンテンツ産業の 5 年、10 年先の将来像を描き出す国際的イベントです。

名 称： デジタルコンテンツ EXPO 2010
Digital Content EXPO 2010

会 期： 2010 年 10 月 14 日 (木) ~ 17 日 (日)

会 場： 日本科学未来館
東京都江東区青海 2-3-6
<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

東京国際交流館
東京都江東区青海 2-2-1
<http://www.tiec.jasso.go.jp/>

主 催： 経済産業省
財団法人デジタルコンテンツ協会

Concept

デジタルイノベーションの架け橋 Bridge for digital innovation

販売促進を目的とした展示会や見本市では、会場を華やかに彩る企業の展示ブースとそこで発表される新製品が花形ですが、デジタルコンテンツ EXPO では、製品化以前の研究開発段階にあるシーズ技術やプロトタイプシステムが主役です。

大学や研究機関で生み出される新技術の中には、製品化に至らずに姿を消してしまうものも少なくありません。こうした現象はたびたび“死の谷”と表現されています。この“死の谷”を克服するためには、谷の両側の住民が頻りに往来し交流することのできる架け橋が必要です。デジタルコンテンツ EXPO では、世界の先端技術が一堂に会し、研究者と企業とクリエイターが、それぞれの立場からこれらの技術の可能性を考え、社会にイノベーションの姿を提示することで、“死の谷”を克服する架け橋の役割を果たします。



デジタルコンテンツ EXPO2009 において、ソニーが新開発の 360 度どこからでも見られる裸眼立体視ディスプレイを初披露

参加をお薦めする理由

経済産業省及び業界団体の財団法人デジタルコンテンツ協会が主催する信頼性の高いイベントです。

経済産業省は我が国のデジタルコンテンツ産業の市場を2020年までに約20兆円まで拡大することを目標に定めています。財団法人デジタルコンテンツ協会は、87の企業・団体を会員にもつこの業界最大級の団体で、デジタルコンテンツ白書の発行や、四半世紀の歴史をもつデジタルコンテンツグランプリの開催、経済産業省の技術戦略マップ（コンテンツ分野）のとりまとめなどを行っています。デジタルコンテンツ EXPO は、こうした公的機関が主催する信頼性の高いイベントです。

世界の第一線で活躍する研究者、技術者、クリエイターが数多く参加し、新たなネットワークを育む機会に満ちたイベントです。

デジタルコンテンツイベントの実行委員をはじめ、シンポジウムやワークショップの講演者や展示物の開発者の中には、世界の第一線で活躍する研究者や技術者、クリエイターなどが数多く参加しており、このイベントに参加することで、こうした人々とのネットワークを育む機会に恵まれます。

参加に係る負担が小さく、大企業でなくともベンチャー企業や研究部門だけでも参加できます。

大規模な展示会や見本市は出展料や出展ブースの造作にかかる費用が膨大。しかし、デジタルコンテンツ EXPO は参加に係る負担が小さくて済みます。これは、コンセプトでも説明しているように、製品化の前の研究開発段階のシーズ技術やプロトタイプシステムを出展してもらうためには、広報宣伝費や販促費などが使えない研究部門や大学、ベンチャー企業などでも無理なく参加できる出展条件とすることが不可欠と考えているためです。

来場者は4日間で約30,000人。情報感度の高い専門家やトレンドリーダーが大勢訪れ、ネットでの口コミによる情報伝達に優れた効果を発揮します。

デジタルコンテンツ EXPO は集客数だけを見ても4日間で約30000人と優れた集客効果を持っています。その上、訪れる来場者の中には、デジタルコンテンツ分野のトレンドリーダーやジャーナリスト、科学好きの学生など、情報感度の高い層が数多く含まれており、Twitterやブログを利用したネットでの口コミによる情報伝達に優れた効果を発揮します。

国内外のマスメディアが多数訪れ、活発な報道が期待できます。

デジタルコンテンツ EXPO2009では、延べ137件の取材と293件の報道が実現しました。中でも視聴率が高い報道番組や全国紙1面トップの掲載などは社会の反響も大きく、優れた広報効果を獲得しています。

主催者プログラム

デジタルコンテンツ EXPO では、主催者が自ら行う「主催者プログラム」と、参加者が行う「参加プログラム」があります。主催者プログラムは、以下の通りです。（展示やシンポジウムの内容は予定であり、今後変更となる場合があります）

「技術戦略マップ（コンテンツ分野）」に示された
次世代コンテンツ技術をフォーカスするプログラム
次世代コンテンツ技術展（ConTEX）

■展示



- ・超高精細映像技術
- ・サービスロボット技術
- ・位置情報技術 など

■シンポジウム



- ・DTM
- ・AR(拡張現実感)
- ・映像制作 など

■映像上映



- ・4K デジタル映像祭
(4K コンテンツを制作者
等の解説付きで上映)

アジア地域で特に成長著しい
コンピュータグラフィックスをフォーカスするプログラム
ASIAGRAPH

■CG技術展示



- ・コンピュータグラフィックス
- ・臨場感映像技術 など

■シンポジウム



- ・アジア独自のコンピュータグラフィックス産業の未来 など

■学術会議



- ・日中韓の研究者による招待論文や論文発表セッション など

ポスト・ビジネスプラットフォーム期を迎え大きな注目を集めている
3D 映像をフォーカスするプログラム

国際 3D Fair

■展示



- ・最新3Dディスプレイ
- ・裸眼立体視ディスプレイ
- ・3Dゲームシステム など

■シンポジウム



- ・3D理論や技術の解説
- ・3Dビジネスの展望 など

■3Dセミナー・セッション



- ・3Dコンテンツ制作ツール
- ・制作ソフトのデモ等の実演
- ・セッション、セミナー など

参加プログラム

参加プログラムは、以下の条件にあてはまるもので、デジタルコンテンツ EXPO の趣旨に合致するものを公募によって選定します。

シンポジウム

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、国際的或いは先進的情報が得られるもの。
 60分～90分程度の所要時間で、150～450名程度を集客できるもの。

セミナー

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、専門家または学生を対象に、専門的技術や知識の習得を促すもの。
 60分～90分程度の所要時間で、30～100名程度を集客できるもの。

ワークショップ

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、主に児童・学生を対象に、体験を通じて学習への好奇心を養うもの。
 30分～90分程度の所要時間で、20～50名程度を集客できるもの。

展示

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場において実験装置や映像等を実際に展示できるもの。
 原則として4日間通期で展示でき、要員が常駐して説明を行うことができるもの。

ステージイベント

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場に設置したイベントステージで実演を行うもの。
 10分～60分程度の所要時間で、50～100名程度の観客にふさわしいもの。

映像上映

コンピュータグラフィックスやアニメーション、実写など、デジタルコンテンツ EXPO にふさわしい内容で、展示会場に設けたスクリーンで上映可能な作品。
 10分～60分程度の所要時間で、50～100名程度の観客にふさわしいもの。

会場施設

日本科学未来館



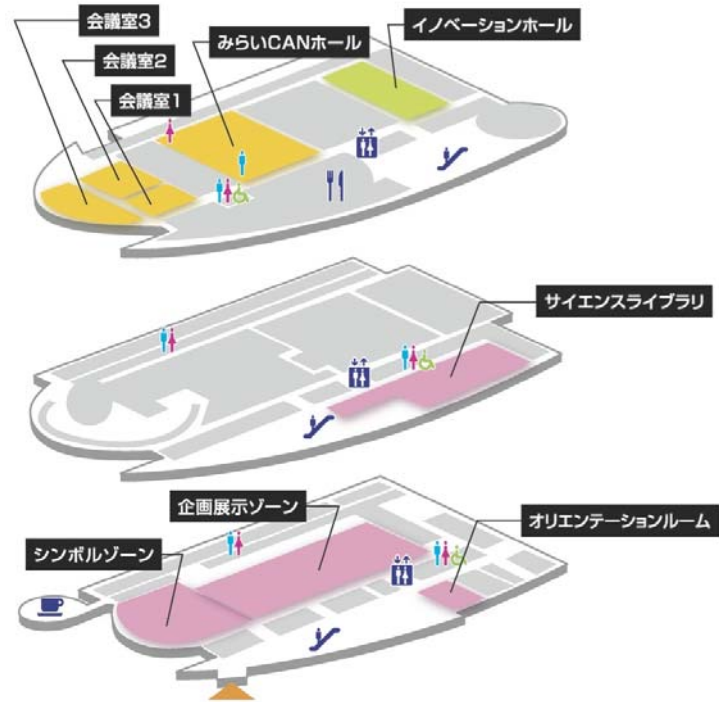
施設名	規模	階数	シンポジウム	セミナー	ワークショップ	展示	ステージイベント	映像上映
みらいCAN ホール	300 席	7F	●					
会議室 1	54 席	7F		●	●			
会議室 2	84 席	7F		●	●			
交流サロン	105 ㎡	7F		●	●			
イノベーションホール	196 ㎡	7F						●
サイエンスライブラリ	300 ㎡	3F				●		
シンボルゾーン	650 ㎡	1F						
企画展示ゾーン	1520 ㎡	1F				●		
センターステージ	100 席	1F					●	●
オリエンテーションルーム 2	130 ㎡	1F		●	●	●		

東京国際交流館



施設名	規模	階数	シンポジウム	セミナー	ワークショップ	展示	ステージイベント	映像上映
国際交流会議場	479 席	3F	●					
メディアホール	102 席	3F		●	●			
会議室 1	60 席	4F		●	●			
会議室 2	36 席	4F		●	●			
会議室 3	36 席	4F		●	●			
会議室 4	18 席	4F		●	●			
会議室 5	12 席	4F		●	●			

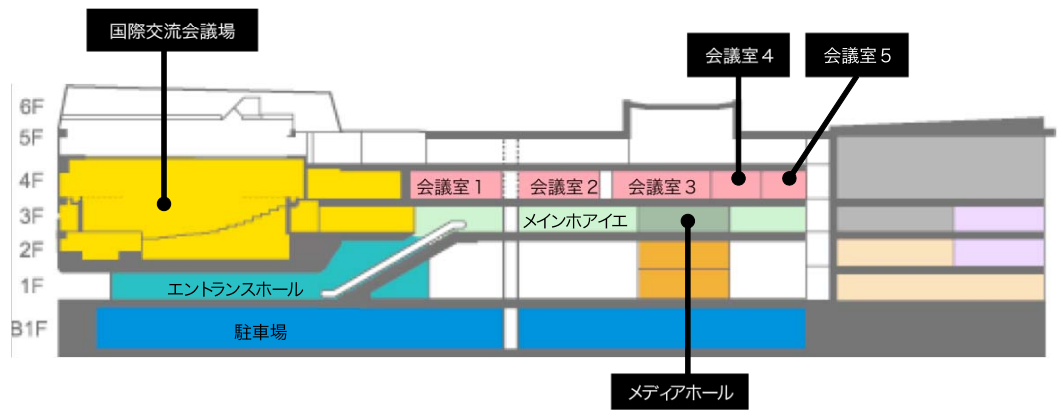
フロアMAP（日本科学未来館）



会場写真（日本科学未来館）



フロアMAP (国際交流館)



会場写真 (国際交流館)

<p>国際交流会議場</p> 	<p>メディアホール</p> 	<p>会議室 1</p> 
<p>会議室 2</p>	<p>会議室 3</p>	<p>会議室 4</p>
<p>会議室 5</p> 		
		

参加費

参加プログラムは、開催に係る経費として、以下の費用をご負担いただきます。参加費には、施設利用費、基本備品費、基本光熱費、インターネット接続費(ベストエフォート)、受講者受付、事前予約(希望者)、広報(Web、印刷物)等を含みます。

参加費(消費税込み)

プログラム区分	規模	時間枠	参加費
シンポジウム	150~450名	2時間	315,000
セミナー	30~100名	2時間	105,000
ワークショップ	20~50名	2時間	105,000
展示	単位区画 9㎡	4日間	94,500
ステージイベント	50~100名	1時間	52,500
映像上映	50~100名	1時間	無料

(シンポジウム・セミナー・ワークショップの時間枠)

- ① 10:00~12:00
- ② 13:00~15:00
- ③ 15:00~17:00

※準備・撤去含む

(ステージイベント、映像上映の時間枠)

- ① 10:00~11:00
- ② 11:00~12:00
- ③ 12:00~13:00
- ④ 13:00~14:00
- ⑤ 14:00~15:00
- ⑥ 15:00~16:00
- ⑦ 16:00~17:00

※準備・撤去含む

(展示の時間枠)

10:00~17:00

その他施設

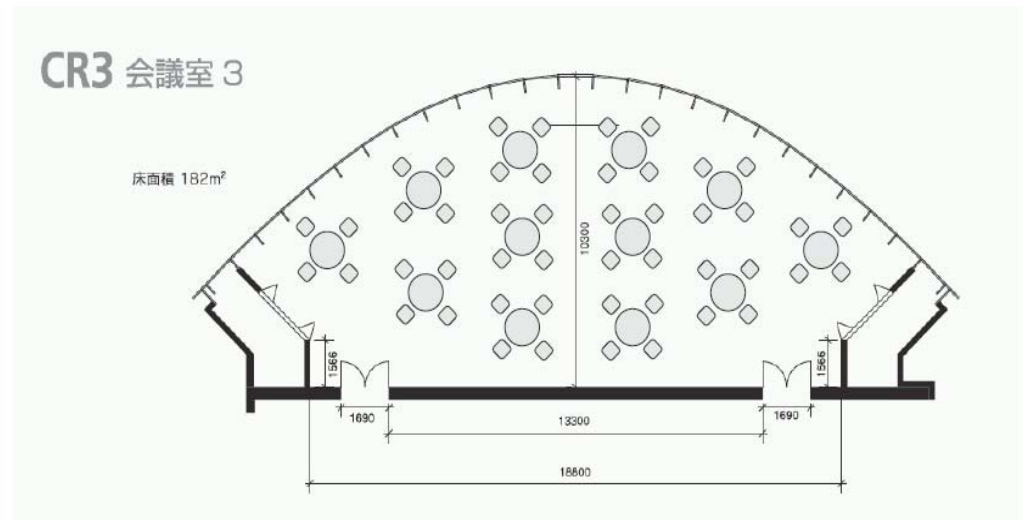
デジタルコンテンツ EXPO の参加者向けに、商談用スペースとして「Biz サロン」をご用意しております。「Biz サロン」は、無料でご提供いたします。また、円滑な運用のために予約制といたします。

Biz サロン (商談用スペース)

利用可能時間：2010年10月14日(木) PM~17日(日)
設置場所：日本科学未来館 7F 会議室 3



図面/設備



※数に限りがあるため、ご希望に添えない場合もありますのであらかじめご了承ください。
※10月上旬より予約を開始する予定です。

応募要領

参加プログラムの応募要領は以下のとおりです。

1. 応募対象として
デジタルコンテンツに関連する技術、クリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、シンポジウム、セミナー、ワークショップ、展示、ステージイベント、映像上映いずれかの構成要素で参加可能なもの。(詳細は P.6 をご参照ください。)
2. 応募が可能な機関等
法人格を持つ企業・団体となります。国内・国外は問いません。
3. 応募期間
平成22年7月16日(金)～7月30日(金) 17:00まで
4. 応募方法
参加をご希望の場合は、申請書(別紙【様式1】)に必要事項をご記入の上、メールにてご提出ください。
複数のプログラムをお申し込みになる場合は、プログラムごとに1枚ずつ提出してください。
5. 提出先
デジタルコンテンツ EXPO 2010 事務局 (財団法人デジタルコンテンツ協会内)
apply@dcexpo.jp
担当：今里
6. 選考の方法
申請のあった企画は、デジタルコンテンツ EXPO 運営委員会において審査の上、決定いたします。
選考結果については、平成22年8月上旬に事務局から申請者宛に通知いたします。参加プログラムの実施日時は、他のプログラムとの調整によって決定します。ご希望に添えない場合もありますのであらかじめご了承ください。

審査基準

参加プログラムの選定は、以下の審査基準に基づいて行います。

[審査基準]

下記の[1]から[3]の各項において少なくとも一つを満たし、かつ、[4]のいずれの項目にも該当しないもの。

[1] テーマ

- ・ デジタルコンテンツ分野における「技術」のうち、先進性、独創性に優れるもの
- ・ デジタルコンテンツ分野における「作品」のうち、芸術性、独創性に優れるもの
- ・ デジタルコンテンツ分野における「ビジネスモデル」のうち、市場性、独創性に優れるもの
- ・ デジタルコンテンツ分野の「人材育成」に資するもの
- ・ デジタルコンテンツ分野の「国際交流」に資するもの
- ・ デジタルコンテンツ分野の「ビジネスマッチング」に資するもの
- ・ その他、主催者が認めたもの

[2] 実施条件

- ・ 会場の展示施設において展示を行うことができるもの
- ・ 会場の上映施設において上映を行うことができるもの
- ・ 会場の会議施設においてシンポジウムやセミナー、ワークショップ等を行うことができるもの
- ・ その他、主催者が認めたもの

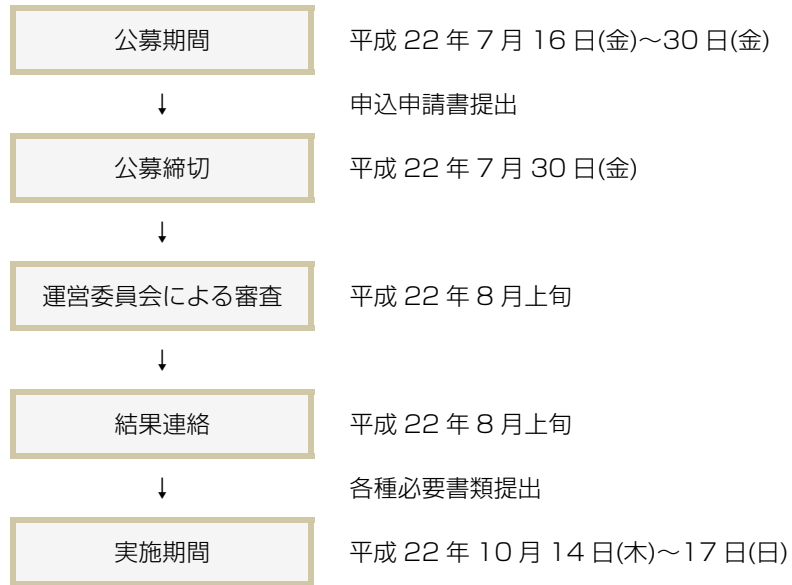
[3] 費用負担

- ・ 参加プログラムの実施・運営に係る人件費、運搬費、旅費、コンテンツ制作費等の経費を参加者が負担できるもの
- ・ その他、主催者が認めたもの

[4] 排除事項

- ・ 公序良俗に反するもの
- ・ 青少年の健全な育成に反するもの
- ・ 反社会的勢力が関与するもの
- ・ 国際社会での関係性において不適切なもの
- ・ その他、社会通念に照らし主催者が不適切と判断したもの

手続きの流れ



お問い合わせ先

[参加に関するお問い合わせ]

デジタルコンテンツEXPO2010 事務局
 財団法人デジタルコンテンツ協会
 〒102-0082 東京都千代田区一番町23番地3 日本生命一番町ビルLB
 Tel : 03-3512-3901 Fax : 03-3512-3908
 apply@dcexpo.jp
 担当：今里、大森

[展示運営に関するお問い合わせ]

凸版印刷株式会社
 〒112-8531 東京都文京区水道 1-3-3
 apply@dcexpo.jp
 担当：松本、小向



協賛のご案内

デジタルコンテンツ EXPO2010 では、プログラム参加の他に協賛参加も受け付けています。
詳しくは担当者にお問い合わせください。

項目	内容
資金協賛	デジタルコンテンツ EXPO の実施に対する資金の提供
物品役務協賛	映像機材や広告枠等の物品や役務の提供

[協賛に関するお問い合わせ]

デジタルコンテンツ EXPO2010 事務局
財団法人デジタルコンテンツ協会
〒102-0082 東京都千代田区一番町2-3番地3 日本生命一番町ビルLB
Tel : 03-3512-3901 Fax : 03-3512-3908
apply@dcexpo.jp
担当：今里